

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-7	中学校	社会	社会(歴史的分野)	第1～3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	歴史002-72	新編 新しい社会 歴史		

1 編修の基本方針

今と向き合い、
持続可能な社会の実現に向けて
「これからの社会を生き抜く力」を育む。



基本方針

1

学習の流れを可視化し、
課題を解決する力を育てる

- 1時間の「学習の流れ」を分かりやすくデザイン
- 「単元の構成」で課題解決的な学習のプロセスを可視化



基本方針

2

自らの考えを整理し、
表現する方法を身に付ける

- 評価の観点に対応した学習のまとめ
- 対話を促し、深い学びを実現する
- 現代的な諸課題を自分ごととしてとらえる



基本方針

3

世界が広がるQRコンテンツで
学びをアップデートする

- 学校でも、家庭でも、学びを支えるQRコンテンツ





1時間の「学習の流れ」を分かりやすくデザイン

学習課題、本文、資料、チェック&トライ等、紙面の要素を定位置に配置しました。

学習の流れが見えることで、全ての生徒にとって学習に取り組みやすい紙面にしました。

学習の流れ

① 導入資料

本時の導入に使える
魅力的な資料

② 学習課題

生徒の「なぜ」を
引き出す学習課題

③ 本文

読んで理解できる
本文

④ チェック&トライ

1時間の学習を
ふり返る二つの問い

サブタイトル
関心を高め、学習
課題につなげる

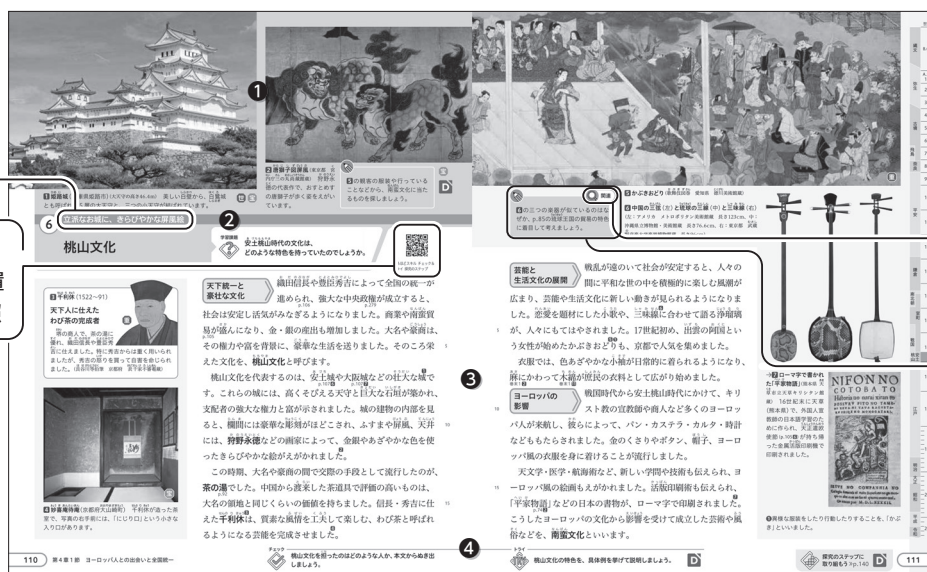
二次元コード
学習課題の横に配置
→詳しくはp.4参照

年表でインデックス
学習する時期や年代
をいつでも確認

見方・考え方の
視点例
思考・判断を深め
る学習の手がかり

活動コーナー
身に付けた技能を
活用する活動

▶110-111 ページ

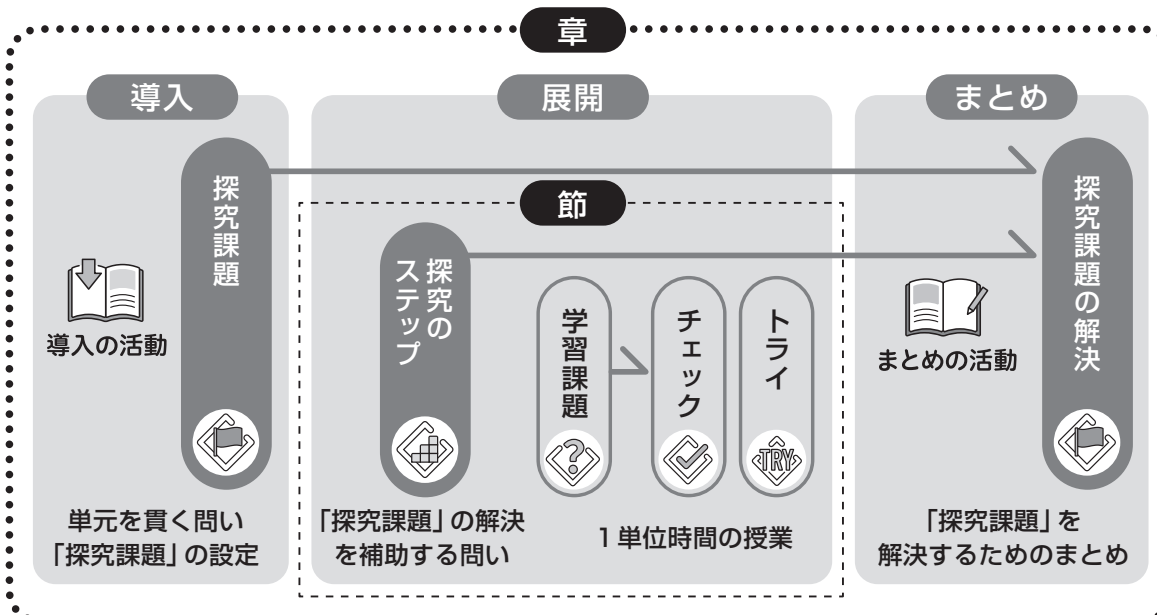


「単元の構成」で課題解決的な学習のプロセスを可視化

「探究課題」「探究のステップ」「学習課題」の3段階の問いが課題解決的な学習を促します。

章全体を貫く「探究課題」を解決するために、節の問い「探究のステップ」を設けることで、無理なく課題解決的な学習に取り組むことができます。

単元の構成





評価の観点に対応した学習のまとめ

単元末のまとめを「知識・技能（知識）」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点で整理しました。

▼140～141 ページ

確認めよう (知識)

学習した言葉の確認と、
まとめを通して「知識」の確認を
コンパクトに行えます。

ふり返ろう (主体的に学習に取り組む態度)

課題の解決を通して「主体的に
学習に取り組む態度」を見取る
ことができます。

深めよう (思考・判断・表現)

思考ツール等を用い、学習をまと
める活動を通して「思考・判断・
表現」を見取ることができます。

対話を促し、深い学びを実現する

対話を通して深い学びを実現するための活動例を、本文やまとめのページに
配置しました。

小グループでの参加型学習「みんなでチャレンジ」を活用することで、本文での学習内容の理解を確
実にし、話し合いなどの対話的な活動を促すことができます。多様な意見に触れながら学習を深め、
自分の考えを調整したり、まとめたりすることで、多面的・多角的に考察したり、公正に選択・判断
したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養います。

▶98 ページ

現代的な諸課題を自分ごと としてとらえる

現代的な諸課題を五つのテーマでとらえ、持続可
能な社会の形成を常に意識できるようにしました。

持続可能な社会の形成を常に意識できるように、現代的
な諸課題を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・
文化」「防災・安全」「情報・技術」の五つの視点でとら
え、3年間の社会科学学習を貫くテーマとしました。様々な
課題や克服のための取り組みを扱い、課題解決のための
意識と態度を育てます。

▲2～3 ページ

単元の
学習の
流れ

学校でも、家庭でも、学びを支えるQRコンテンツ

小学校の学びを活かし、中学校の学びをスタート

導入



▲98 ページ

単元の学習をイメージしやすいコンテンツ

【導入クリップ】

各単元導入では、小学校の学習内容をふり返るなど、単元の学習をイメージしやすいコンテンツを用意しました。

活用場面

授業冒頭のレディネスチェックとして、予習のための課題として、活用することができます。

展開

多様なQRコンテンツが毎日の学習をサポート

知識の確認



桃山文化を担ったのはどのような人か、本文からめき出しましょう。



桃山文化の特色を、具体例を挙げて説明しましょう。

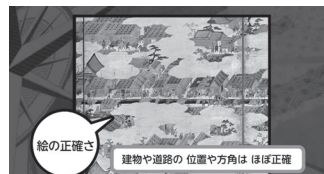
【チェック&トライ】

毎時間の学習内容をもとに取り組みコンテンツ

活用場面

1時間の授業のまとめとして、学習内容のふり返しとして活用できます。

映像資料で興味津々

【なるほど！スキル・アップ】
【D-MOVE】

スキル・アップの解説動画やNHK for School 動画など

活用場面

歴史学習に必要なスキルや学習内容の確認、関連する内容の理解に活用できます。

資料で考察・追究活動



【D-ZOOM】

貴重な歴史的な資料を拡大して閲覧できるコンテンツ

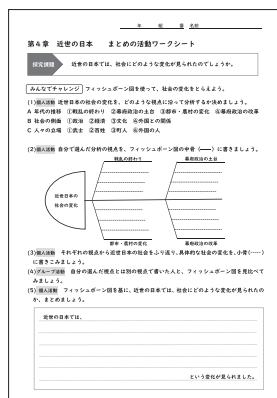
活用場面

歴史学習に必要な、資料を読み取り、考察・追究し、活用する力の育成に役立ちます。

学習を整理し、学びを深めるヒント

まとめ

学習の内容を確認



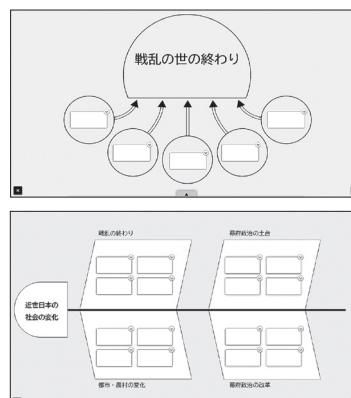
【ワークシート】

活動のためのワークシート

活用場面

授業での活動や、家庭学習でのふり返しに活用できます。

問いの解決をサポート



【思考ツール】

くらげチャートやフィッシュボーン図などの思考ツール

活用場面

学習のまとめのツールとして、自分の思考を整理するためのヒントとして活用できます。

对照表

教育基本法第2条の各号に定められた教育の目標を実現するために、教科書全体を通して、以下のような配慮をしています。

図書の構成	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭・巻末	●巻頭言で、持続可能な社会の実現に向けて歴史から学ぶことの重要性を取り上げ、より良い社会の形成に主体的に参画する態度を養えます(第3号)。 ●時代を代表する資料を紹介し、時代の文化や人々の生活などを理解しながら、各時代の特色をつかむことができます。(第5号)。 ●歴史学習で登場する植物を紹介し、衣食を通して人々の営みを感じ取ることができます(第5号)。	2-3ページ 巻頭 1-1ページ 巻末 1ページ
第1章 歴史へのとびら	●小学校で学習した人物や文化財などのイラストを大きく掲載し、歴史学習への興味・関心を高めながら、円滑に導入できます(第1号)。 ●歴史的な見方・考え方を解説するとともに、調査学習に関する「スキル・アップ」を設け、歴史学習の基盤となる見方・考え方や技能を習得できます(第1号)。 ●身近な地域の歴史を調べる際の手順を丁寧に説明し、地域社会に積極的に関わり、主体的に社会の形成に参画する意識と態度を養えます(第3号)。 ●代表的な国宝、重要文化財や主な史跡を紹介し、我が国の伝統や文化を理解できます(第5号)。	8-9ページ 10-15ページ 16-19ページ 20-21ページ
第2章 古代までの日本	●歴史地図・文献資料・調査計画表・系図の読み取りに関する「スキル・アップ」を設け、歴史学習で重要な技能を養い、主体的に学習を進められます(第1号)。 ●縄文時代と弥生時代のむらの変化を示したり、奈良時代の貴族と民衆の住居や食事を比較したりすることで、考察、構想する際の視点や考え方を着実に身に付け、主体的に学習を進めることができます(第1号)。 ●日本の神話やそれを題材にした神楽を取り上げる「もっと知りたい!」を設け、我が国の伝統が現在の社会にも息づいていることが理解できます(第5号)。	29、37、40、43ページ 35、36、48ページ 58-59ページ
第3章 中世の日本	●モンゴル帝国の拡大によるユーラシア世界の成立や、東アジアにおける朝貢について扱い、我が国の歴史を国際的な視点からとらえられます(第5号)。 ●琉球文化を扱う「もっと知りたい!」を設け、我が国の伝統や文化をとらえられます(第5号)。	78-79、86ページ 86-87ページ
第4章 近世の日本	●グラフの読み取りに関する「スキル・アップ」を設け、歴史学習で重要な技能を養い、主体的に学習を進められます(第1号)。 ●アイヌ文化について扱う「もっと知りたい!」を設け、我が国における文化の多様性に気付き、多様性を尊重する態度を養えます(第3号)。	131ページ 120-121ページ
第5章 開国と近代日本の歩み	●相関図や話し合いによる考察、風刺画の読み取りに関する「スキル・アップ」を設け、歴史学習で重要な技能を養い、主体的に学習を進められます(第1号)。 ●公害問題の原点といわれる足尾銅山鉱毒事件を「もっと知りたい!」で取り上げ、環境保全への意識を高めることができます(第4号)。 ●感染症が歴史の中で社会にどのような影響をあたえてきたのかについて「もっと知りたい!」で取り上げ、生命を尊ぶ意識を高めることができます(第4号)。 ●我が国が抱える領土をめぐる問題の背景を取り上げ、領土編入の経緯について理解し、国際平和のために解決すべき課題をとらえられます(第5号)。	164、183、187ページ 193ページ 197ページ 174-177ページ
第6章 二度の世界大戦と日本	●表を用いた考察に関する「スキル・アップ」を設け、歴史学習で重要な技能を養い、主体的に学習を進められます(第1号)。 ●人物コラムや「もっと知りたい!」で、国際的に活躍し評価される日本人を取り上げ、勤労観の基礎を養えます(第2号)。 ●「地域の歴史を調べよう」で、生徒が平和について考察・構想し発信する活動を取り上げ、国際平和に向けて主体的に取り組む態度を養えます(第5号)。	239ページ 208、231ページ 238-239ページ
第7章 現代の日本と私たち	●歴史上の震災とその教訓の継承を取り上げる「もっと知りたい!」を設け、防災意識を高め、安全なまちづくりに主体的に参画する意識を養えます(第3号)。 ●日本の近現代のエネルギーの歴史について取り上げる「もっと知りたい!」を設け、エネルギー問題に対する意識を高められます(第4号)。 ●公害や地球環境問題について取り上げ、自然を大切にし、環境保全に寄与する態度を養えます(第4号)。	268-269ページ 266-267ページ 257、264ページ

上記の記載事項以外に特に意を用いた特色

全ての生徒が使いやすい紙面への配慮

特別支援教育への配慮やユニバーサルデザインの取り組み

紙面の読み取りやすさの向上

- 資料の掲載部分を、文字などの読み取りに支障のない地色を敷いて区別することで、紙面の構造を明確化し、特別支援教育の観点での学習のしやすさを向上させました。
- ユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用することで、文字の視認性を向上させました。

色覚特性への配慮

- グラフや地図などでは、色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用しました。また、文字に縁取りをしたり、凡例を使用しないで図中に直接示すようにしたり、グラフでは読み取りづらい破線や点線を減らしたりしました。

学校教育を取り巻く諸課題への取り組み

より良い指導や学びをサポートする

指導しやすさ・学びやすさの確保

- 様々な教科の教科書を持ち歩く生徒の負担に配慮して、過度な重量にならないように、ページ数を抑え、軽くて裏写りせず、強度の高い紙を使用しました。
- 必要な学習内容をしっかりと確保しながら、単元や1単位時間の紙面の構造を明確化することで、先生方の教材研究や授業準備の時間を短縮できます。

環境に優しい素材を使用

- 再生紙・植物油インキを使用しています。
- 用紙には、強度と発色性とを兼ね備えた質の高い再生紙を使用して環境に配慮するとともに、文字や図表、写真などの資料が読みやすく、色映えするように工夫しています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-7	中学校	社会	社会(歴史的分野)	第1～3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	歴史002-72	新編 新しい社会 歴史		

1 編修上特に意を用いた点や特色

学習指導要領への対応

1

歴史的な見方・考え方を働かせながら、歴史の流れや時代の特色を理解し、多面的・多角的にとらえられる力を養う

歴史をとらえる見方・考え方

第1章1節で「時期や年代」「推移」「比較」「相互の関連」「現在とのつながり」の五つの歴史的な見方・考え方を取り上げ、「みんなでチャレンジ」などの活動を通じて、無理なく確実に身に付けられるようにしました。第2章以降で見方・考え方を働かせることで、歴史的な事象をより深く理解するとともに、思考力・判断力を高められます。

(見方・考え方を働かせる例)

1 歴史をとらえる見方・考え方

第1章1節で「時期や年代」「推移」「比較」「相互の関連」「現在とのつながり」の五つの歴史的な見方・考え方を取り上げ、「みんなでチャレンジ」などの活動を通じて、無理なく確実に身に付けられるようにしました。第2章以降で見方・考え方を働かせることで、歴史的な事象をより深く理解するとともに、思考力・判断力を高められます。

1.1 歴史をとらえる見方・考え方

第1章1節で「時期や年代」「推移」「比較」「相互の関連」「現在とのつながり」の五つの歴史的な見方・考え方を取り上げ、「みんなでチャレンジ」などの活動を通じて、無理なく確実に身に付けられるようにしました。第2章以降で見方・考え方を働かせることで、歴史的な事象をより深く理解するとともに、思考力・判断力を高められます。

1.2 歴史をとらえる見方・考え方

第1章1節で「時期や年代」「推移」「比較」「相互の関連」「現在とのつながり」の五つの歴史的な見方・考え方を取り上げ、「みんなでチャレンジ」などの活動を通じて、無理なく確実に身に付けられるようにしました。第2章以降で見方・考え方を働かせることで、歴史的な事象をより深く理解するとともに、思考力・判断力を高められます。

1 歴史をとらえる見方・考え方

第1章1節で「時期や年代」「推移」「比較」「相互の関連」「現在とのつながり」の五つの歴史的な見方・考え方を取り上げ、「みんなでチャレンジ」などの活動を通じて、無理なく確実に身に付けられるようにしました。第2章以降で見方・考え方を働かせることで、歴史的な事象をより深く理解するとともに、思考力・判断力を高められます。

1.1 歴史をとらえる見方・考え方

第1章1節で「時期や年代」「推移」「比較」「相互の関連」「現在とのつながり」の五つの歴史的な見方・考え方を取り上げ、「みんなでチャレンジ」などの活動を通じて、無理なく確実に身に付けられるようにしました。第2章以降で見方・考え方を働かせることで、歴史的な事象をより深く理解するとともに、思考力・判断力を高められます。

1.2 歴史をとらえる見方・考え方

第1章1節で「時期や年代」「推移」「比較」「相互の関連」「現在とのつながり」の五つの歴史的な見方・考え方を取り上げ、「みんなでチャレンジ」などの活動を通じて、無理なく確実に身に付けられるようにしました。第2章以降で見方・考え方を働かせることで、歴史的な事象をより深く理解するとともに、思考力・判断力を高められます。

▲10-11 ページ

3 時代の特色をとらえる見方

第1章1節で「時期や年代」「推移」「比較」「相互の関連」「現在とのつながり」の五つの歴史的な見方・考え方を取り上げ、「みんなでチャレンジ」などの活動を通じて、無理なく確実に身に付けられるようにしました。第2章以降で見方・考え方を働かせることで、歴史的な事象をより深く理解するとともに、思考力・判断力を高められます。

3.1 時代の特色をとらえる見方

第1章1節で「時期や年代」「推移」「比較」「相互の関連」「現在とのつながり」の五つの歴史的な見方・考え方を取り上げ、「みんなでチャレンジ」などの活動を通じて、無理なく確実に身に付けられるようにしました。第2章以降で見方・考え方を働かせることで、歴史的な事象をより深く理解するとともに、思考力・判断力を高められます。

3.2 時代の特色をとらえる見方

第1章1節で「時期や年代」「推移」「比較」「相互の関連」「現在とのつながり」の五つの歴史的な見方・考え方を取り上げ、「みんなでチャレンジ」などの活動を通じて、無理なく確実に身に付けられるようにしました。第2章以降で見方・考え方を働かせることで、歴史的な事象をより深く理解するとともに、思考力・判断力を高められます。

▲14-15 ページ

2

年表や歴史地図、系図、絵画資料の読み取り方などの基礎的な技能を、様々な習得・活用場面を通して身に付けることができます。

スキル・アップ

年表や系図の読み取り方、プレゼンテーションソフトによるスライドのまとめ方など、歴史学習における基礎的な技能の定着につなげることができます。

▶43 ページ

活動コーナー

技能を活用する活動コーナーでは、「見方・考え方」を働かせながら、課題解決的な学習のための情報収集や読み取り、まとめの技能を身に付けることができます。

▶ 100 ページ



もっと知りたい!

本文の学習内容を、もっと深めたり、もっと広げたり、もっと異なる視点でとらえたりすることで、歴史的・多角的に多面的・多角的にとらえることができ、より確かな理解につながることが出来ます。

▶ 巻頭1-
頭2ページ

D-ZOOM

端末上で資料を拡大して詳しく見ることができます。紙面では細部を確認できない資料もICTを活用して読み取り、資料を読み取る力の定着を図ることができます。 ▼98 ページ



① 南蛮人の来航 (狩野内膳筆 南蛮人渡来図屏風 兵庫県 神戸市立博物館蔵)

人物コラム

歴史上の人物を扱ったコラムを豊富に設け、小学校における人物を中心とした歴史学習からの接続を大切にするとともに、人物をキャッチフレーズで紹介することで、確かな理解へとつなげることができます。

▶170 ページ



② 渋沢栄一(1840~1931)

多くの企業を設立した
「日本資本主義の父」

大蔵省(p.167)の役人として、
富岡製糸場の建設や銀行の設立
にたずさわりました。役人を辞
めてからは、500以上の企業の
設立に関わり、経済の発展に力
をつくしました。

資料から発見!

各時代を特徴的に示している絵画資料を大きく取り上げ、時期や年代、推移、比較、相互の関連などに着目しながら、各時代の特色をとらえられるようにするとともに、資料を読み取る力を養います。



3

●社会科の3年間の学習を貫く、「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の五つのテーマで、様々な課題や克服のための取り組みを扱い、現代的な諸課題の解決のための意識と態度を育てられます。▶2-3、274-275ページ

●日本の国境と領土に関する学習では、我が国が抱える領土をめぐる問題やその背景を取り上げ、問題を正しく理解し、国際平和のために解決すべき課題であることを意識することができます。

▶174-177ページ

●歴史学習の終わりに国際連合の「持続可能な開発目標（SDGs）」を取り上げることで、SDGsについて理解し、課題意識を高められます。▶265ページ

検討の観点		内容の特色	該当箇所
内容の程度・分量	指導計画作成上の配慮	●本文は見開き2ページで1単位時間を原則にしています。 ●目次・索引、巻末資料などを除いたページ数は276ページで、標準授業時数135時間のうち、5単位時間の予備時間を設け、柔軟な指導計画の作成が可能です。	全体
	適正な内容・分量	●授業時数は、1章に6単位時間、2章に19単位時間、3章に16単位時間、4章に22単位時間、5章に27単位時間、6章に19単位時間、7章に14単位時間を配当しており、適切な配当といえます（本紙5ページの「対照表」参照）。	全体
歴史的分野の目標と内容	基礎的・基本的な知識・概念や技能を習得する。	●見開き1単位時間の紙面を、「興味・関心を引き出す『導入資料』→1時間を貫く問いである『学習課題』→丁寧に分かりやすい『本文』→1時間の学習課題を解決する『チェック&トライ』」の流れで構造化し、学習内容を確実に定着できるようにしました。 ●歴史学習の基礎的な知識・技能を系統的に習得させる「スキル・アップ」を設け、学習に必要な技能を確実に定着できるようにしました。 ●学習指導要領に示された「集める」「読み取る」「まとめる」の側面から技能を活用する活動コーナーを設け、資料を活用する力を高められるようにしました。 ●本文等の抽象的な用語を解説する巻末の「用語解説」を設け、基礎・基本を確実に理解できるようにしました。また、QRコンテンツでは、社会科で学習する用語が確認できる「社会科用語マスター」を用意しています。	巻頭3、1、11、13、16-19ページなど 25、29、30、32、34、35ページなど 276-281ページ
	「歴史的な見方・考え方」を働かせるなどして、思考力・判断力・表現力を育む。	●第1章で「見方・考え方」を明示してとらえさせるとともに、学習の過程に適宜「見方・考え方」を働かせるマーク㊦を設け、学習を深められるようにしました。 ●各見開きには、短時間の説明・要約などで学習内容をまとめる「チェック&トライ」を設け、思考力・判断力・表現力を高められるようにしました。 ●各章の終結部には「ウェビング」「ステップチャート」といった多様な思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を設け、思考を整理し、学びを深められるようにしました。 ●小集団での参加型学習を行う「みんなでチャレンジ」コーナーを適宜設け、対話的な活動を効果的に実践できるようにしました。	10-15、26、30、36、39、43、48ページなど 60-62、94-96、140-142ページなど 60、94、95、142ページなど 22、26、38、42、62ページなど
	公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。	●巻頭では「歴史に学ぶ 持続可能な社会の実現に向けて」を設けて、これからの未来を考えるために歴史を学ぶ必要性があることを意識できるようにしました。 ●「地域の歴史を調べよう」では時代や地域の異なる5事例を紹介し、「身近な地域の歴史」を学ぶことを通して、主体的に社会の形成に参画する資質や能力を養えるようにしました。 ●「未来にアクセス」では、歴史的な経緯を踏まえながら現代社会においても継続的な課題である社会事象を意識できるようにしました。	2-3ページ 40-41、138-139、164-165ページなど 209、247、253、263、265ページなど
構成・配列	小・中・高の系統性	●各単元の導入部に、小学校社会科で学習した内容を用語や写真でふり返るページを設けるとともに、QRコンテンツでは既習事項をふり返るなど単元学習をイメージしやすいコンテンツを用意して、小・中の学習を円滑に接続できるようにしました。 ●巻頭に絵画資料や写真から時代をとらえる「資料から発見!」を設け、また各章末に年表や地図、グラフ、絵画資料などを読み取るコーナーを設けて、高等学校の必修科目「歴史総合」につながる資料を読解する力を養えます。	22-23、64-65、98-99、144-145ページなど 巻頭1-1、63、97、143ページなど
	三分野の関連	●3年間の社会科学学習を貫く五つのテーマ（「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」）について、三分野共通の題材や、分野をまたがる共通の資料を扱い、分野関連を示すリンクマーク㊦を付すことで、多面的・多角的な学習ができます。	120-121、196、266-267、268-269ページなど
	他教科との関連	●他教科でも扱う学習内容には、教科関連を示すリンクマーク㊦を付し、教科を横断した学習の確認ができます。	16、29、51、57、75、211ページなど
	QR コンテンツ	●導入→展開→まとめという学習の流れの中で活用できるよう、日々の授業や家庭学習で使えるコンテンツを用意しました。 ●章扉の導入ページでは、小学校の学習をふり返る動画を用意し、小学校の学習内容を思い出しながら、中学校の学習をスタートできるようにしました。 ●展開ページでは、学習内容の理解を深める動画や、活動のためのワークシート、生徒のつまづきを補うシミュレーションなどのコンテンツを用意しています。また、コンテンツを活用しながら学習を進められるよう、二次元コードを学習課題の隣に置きました。 ●まとめのページでは、思考の整理に役立つ思考ツールや学習した内容をまとめるワークシートを用意しました。	全体 22-23、64-65、98-99ページなど 24-39、42-57ページなど 60-62、94-96ページなど

検討の観点		内容の特色	該当箇所
今日的な課題への対応	持続可能な開発目標 (SDGs)	●教科書全体を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の五つのテーマで貫き、現代的な諸課題を意識しながら学習を進められるようにしました。 ●第7章「現代の日本と私たち」では、「持続可能な開発目標 (SDGs)」を取り上げ、現代的な諸課題を理解し、課題を解決しようとする態度を養えるようにしました。	2-3、274-275ページ 265ページ
	環境・エネルギー	●公害問題や地球環境問題、日本のエネルギー政策などについて多様な教材を掲載し、話し合いなどの活動を通して、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。	155、193、257、 266-267ページなど
	人権・平和	●同和問題や、アイヌ民族、琉球王国、在日韓国・朝鮮人の歴史を、ページを割いて扱い、人権尊重・多文化共生の意識を高められるようにしました。	86-87、93、118-119、 120-121、218-219、 247、265ページなど
	伝統・文化	●文化史に十分な紙面を割き、我が国の伝統や文化を着実に理解できるようにしました。 ●代表的な国宝・重要文化財や主な史跡を取り上げた特設ページを設けて、我が国の伝統文化や文化に対する関心を高めることができます。 ●小学校の学習指導要領に示された42人の人物をもれなく取り上げるとともに、「人物コラム」を設け、人物を手がかりにした歴史学習ができます。また、近代以降の人物については出身県を示し、郷土の偉人を確認できます。	50-51、56-57ページなど 20-21ページ 69、70、80、83、 170ページなど
	防災・安全	●歴史上の災害やそれを乗り越えてきた人々の姿、歴史上の防災対策を、本文ページや「もっと知りたい!」で取り上げ、防災・減災への意識や態度を養うことができます。	130、197、217、264-265、 268-269ページなど
	情報・技術	●我が国におけるメディアの発達とそれに伴う社会や文化の変容について、本文ページや「もっと歴史」で取り上げ、現在の情報環境の成り立ちを歴史的にとらえられます。	171、196、216-217、 258-259ページなど
	先生がたの働き方改革への貢献	●1見開きあたり1時間を基本とし、時間配当や年間指導計画を把握しやすい構成にしています。 ●単元における「導入の活動」と「まとめの活動」に一体感をもたせ、単元構想が立てやすくなるようにしました。 ●紙面上で、活動場面に「見方・考え方」を働かせる視点の例を分かりやすく提示しました。	全体 22-23、60-62 ページなど 26、30、36、39、 43、48ページなど
	インクルーシブ教育を目指して	●特別支援教育の観点から、立体感や陰影のある表現を省いた「フラットデザイン」を採用し、学習者が学習に必要な情報に集中できるようにしました。 ●資料の掲載部分を、文字などの読み取りに支障のない地色を敷いて区別することで、紙面の構造を明確化し、特別支援教育の観点での学習のしやすさを向上させています。 ●教科書全体を通してユニバーサルデザインフォント (UDフォント) を使用し、文字の視認性を高め、読み取りやすさを向上させています。 ●色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用するとともに、グラフや地図などでは、凡例を使用せずに図中に直接示すようにしたり、読み取りづらい破線や点線を極力減らしたりしました。 ●小さな文字が読み取りにくい生徒に配慮し、読み取りやすいゴシック体のふりがなを採用し、視認性を確保しながら黒色を抑えることで、紙面の雑然とした印象を軽減し、読み取りやすさを向上させています。 ●別途発行予定の学習者用デジタル教科書では、文字の大きさ変更 (リフロー表示)、本文の読み上げ (機械音声)、文字色・背景色・行間の変更や、ふりがな表示、分かち書き表示に対応し、全ての子どもの学習を支えます。	全体
	令和の日本型学校教育の推進	●紙面に付した二次元コードを機器で読み取ることで、内容の理解につながる動画やシミュレーションなど、豊富なコンテンツを利用することができるため、学校でも家庭でも学習者個人に合わせた学習を調整することができます。 ●学習者用デジタル教科書では、画面に表示される紙面上の二次元コードをクリックするだけの操作で、簡単にQRコンテンツにアクセスすることができます。	全体

観点別特色一覧

検討の観点		内容の特色	該当箇所
印刷・造本	表記・表現	●視覚的効果が高い幅広の判型（AB判）を用い、資料を豊富に掲載するとともに、写真や文字の鮮明さに留意し、見やすく印象的な紙面構成になっています。	全体
	製本・印刷	●印刷用のインキは、環境に配慮した植物油インキを使用しています。 ●強力な接着剤を用いた製本は堅牢で、長期間の使用にも十分耐えられます。	全体
	用紙・紙質	●様々な教科の教科書を持ち歩く生徒の負担に配慮して、過度な重量にならないように、ページ数を抑え、軽くて裏写りせず、強度の高い紙を使用しました。 ●用紙には、強度と発色性を兼ね備えた質の高い再生紙を使用して環境に配慮するとともに、文字や図表、写真などの資料が読みやすく、色映えするように工夫しています。	全体

2 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時間
持続可能な社会の実現に向けて	A-(1)	2-3ページ	1
第1章 歴史へのとびら	A-(1),(2)	8-21ページ	6
1 節 歴史をとらえる見方・考え方	A-(1)	8-15ページ	4
2 節 身近な地域の歴史	A-(2)	16-21ページ	2
第2章 古代までの日本	B-(1)	22-63ページ	19
1 節 世界の古代文明と宗教のおこり	B-(1)	24-33ページ	5
2 節 日本列島の誕生と大陸との交流	B-(1)	34-39ページ	3
3 節 古代国家の歩みと東アジア世界	B-(1)	42-59ページ	8
●大陸への玄関口 福岡（地域の歴史を調べよう1）	A-(2)	40-41ページ	(6)
第3章 中世の日本	B-(2)	64-97ページ	16
1 節 武士の政権の成立	B-(2)	66-75ページ	5
2 節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開	B-(2)	76-93ページ	8
第4章 近世の日本	B-(3)	98-143ページ	22
1 節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一	B-(3)	100-111ページ	7
2 節 江戸幕府の成立と対外政策の変化	B-(3)	112-123ページ	5
3 節 産業の発達と幕府政治の推移	B-(3)	124-137ページ	7
●藩の政治と産業 会津（地域の歴史を調べよう2）	A-(2)	138-139ページ	(6)
第5章 開国と近代日本の歩み	C-(1)	144-201ページ	27
1 節 欧米における近代化の進展	C-(1)	146-155ページ	5
2 節 欧米の進出と日本の開国	C-(1)	156-163ページ	4
3 節 明治維新	C-(1)	166-181ページ	9
4 節 日清・日露戦争と近代産業	C-(1)	184-197ページ	6
●幕末を生きた先人たち 福井（地域の歴史を調べよう3）	A-(2)	164-165ページ	(6)
●明治維新のまちづくり 新潟（地域の歴史を調べよう4）	A-(2)	182-183ページ	(6)
第6章 二度の世界大戦と日本	C-(1)	202-243ページ	19
1 節 第一次世界大戦と日本	C-(1)	204-211ページ	4
2 節 大正デモクラシーの時代	C-(1)	212-219ページ	3
3 節 世界恐慌と日本の中国侵略	C-(1)	220-229ページ	5
4 節 第二次世界大戦と日本	C-(1)	230-237ページ	4
●被爆建物の保存と継承 広島（地域の歴史を調べよう5）	A-(2)	238-239ページ	(6)
第7章 現代の日本と私たち	C-(2)	244-275ページ	14
1 節 戦後日本の出発	C-(2)	246-249ページ	2
2 節 冷戦と日本の発展	C-(2)	250-259ページ	5
3 節 新たな時代の日本と世界	C-(2)	260-269ページ	3
歴史のまとめ	C-(2)	274-275ページ	1
※予備時間は、生徒の自主的な学習活動の時間や評価などに充てる時間です。		予備時間	5
※第2-7章の配当時数には、「導入の活動」(1時間)と、「基礎・基本のまとめ」「まとめの活動」(合わせて2時間)も含まれます。		合計	135
※内容A-(2)の「身近な地域の歴史」は、第1章2節のほかに、「地域の歴史を調べよう」の5事例を参考にして6時間を配当することを想定しています。			